

# 令和5年度 学校評価 自己評価書（1学期）

〔中10〕 鹿児島市立甲東中学校

（令和5年7月31日 作成）

## 1 学校の重点目標

1	進路を見据えた「確かな学力」の育成
2	心豊かな生徒を育てる生徒指導の充実
3	郷土教育を重視した支持的風土の確立と生徒会活動の充実
4	教育活動の質を高める業務改善・働き方改革を意識した取組の推進

## 2 課題と改善策

	評価項目	職員	評価結果と改善方策
学校経営	1 学校経営方針達成に向けた努力	3.1	○ グランドデザインを具現化するために、さらに職員間の連携を強化し、教育活動を推進する。 ○ 目標をもって学習に取り組む生徒が増えているため、さらに工夫しながら継続指導を行う。
	2 「めざす生徒像」達成への努力	3.0	
	3 「めざす教職員像」に向けた努力	3.1	
	4 「めざす学校像」に向けた保護者・地域・関係機関との連携	2.9	
学年学級経営	1 人権同和教育の推進	3.1	○ すぐに諦めてしまう生徒が根気強く取り組むための手立てを工夫する。 ○ 夏休みの三者相談を充実させ、2学期に繋げる。 ○ 一学校一改革は、職員が意識して取り組んでいる。
	2 自主・自立した生徒の育成	2.6	
	3 判断力、奉仕の精神の涵養	2.6	
	4 健康でたくましい生徒の育成	2.8	
	5 一学校一改革の「タブレットの活用」の促進	3.0	
教科経営	1 ICT機器の効果的な活用	2.7	○ タブレットの活用は、「ICT活用推進WEEK」などを設定したことで、意識が高まり活用頻度が向上した。 ○ 諸検査の分析をもとに各教科で設定した具体策を確実に実践する。
	2 主体的・対話的で深い学びの促進	2.9	
	3 基礎的・基本的事項の定着	2.9	
	4 望ましい学習習慣の確立	2.9	
道徳教育	1 計画に沿った道徳科の実施	2.7	○ 物事を広い視野で見たり、相手の立場に立って考えたりする力をさらに育成する。
	2 ねらいに沿った指導の実践	2.5	
	3 道徳的実践活動の推進	2.9	
	4 社会生活に必要な規範意識の涵養	2.5	
特別活動	1 計画的な授業実践と指導の充実	2.9	○ 生徒会の他中学校との交流活動等が充実していた。 ○ 2学期の各行事は、生徒に企画段階から関わらせ、達成感を実感できるようにする。
	2 生徒会活動、学級生徒会活動の推進	3.0	
	3 生徒が生き生きする学校行事の実施	3.0	
生徒指導	1 カウンセリング等を生かした指導の実践	3.0	○ 職員間及び関係機関との連携が図れたため、今後も継続していく。 ○ 一事徹底事項を設定し、全職員で一斉指導したことは効果があった。 ○ 元気のよいあいさつができる生徒が増えてきた。 ○ TPO を考えて行動できる力の育成を根気強く行う。
	2 全職員の共通理解の下の指導実践	2.9	
	3 作業、挨拶、言葉遣い等の基本的な生活習慣の定着	3.1	
	4 問題行動等への全職員体制の対応	3.1	
	5 家庭、地域、関係機関との連携	3.0	
	6 心に届く生徒指導の推進	3.0	

進路指導	1 職業観・勤労観を育むキャリア教育の計画的推進	2.9	○ 将来の姿をイメージしながら学習に取り組もうとする生徒が増えてきた。
	2 夢を抱かせる進路指導の充実	2.9	
保健安全体育	1 交通安全指導及び非常時の安全指導の徹底	3.1	○ 時期に合わせた各テーマの掲示で注意喚起や啓発をすることができた。 ○ 給食の残食を減らす工夫をする。
	2 安全点検の定期的実施と補修の徹底	3.1	
	3 学校行事、部活動を通じた体力・気力づくりの推進	2.9	
	4 給食時間の指導の徹底による食中毒防止、給食マナーの充実	3.1	
研修	1 全職員の実証授業参観及び指導力向上の推進	3.1	○ ICT を活用した研究授業が実施でき、職員の資質向上が図れた。 ○ 職員研修は、計画通りに実施できた。2学期は、さらに内容を充実させる。
	2 職員相互の指導・助言、資質向上の促進	3.1	
校務・管理	1 校務の役割の明確化及び連携の充実	2.9	○ See-Smile を有効活用し、業務の効率化が図れた。 ○ 超過勤務時間をさらに減らす。
	2 金銭の出納や経理等の適切な処理	3.5	
	3 事務処理の組織対応及び校務データの共有化	3.0	
	4 保護者・地域との共同及び関係機関との連携	2.9	
	5 勤務時間の管理及びPDCAサイクルの確立	3.1	
学校環境	1 師弟同行による作業の徹底	3.4	○ 清掃は、全職員が生徒と一緒に取り組むことができた。 ○ 時間いっぱい取り組む態度を育成する。 ○ 放課後の教室の見届けを確実にを行う。
	2 適切な施設・設備の整備	2.8	
	3 学校緑化の推進	3.0	
	4 教室環境の整備	2.9	

### 3 次学期に向けての取組

- 1学期の評価をもとに、夏季休業中に各担当係で係会を行い、改善に向けた具体策を示していく。
- 教職員の資質向上のため、職員研修をさらに充実させ、校外で実施される研修に積極的に参加する。